

2008 年度

科目名	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者
音楽療法		植條 勝子
授業テーマ 音楽療法		
授業の概要と目標 障害児の音楽療法に必要な理論と技術を身につける。音楽が障害児にどのように作用するのか、その特性や効果を実践例をと おして理解する。子どものその場の瞬間の気持ちを敏感に捉えて対応する能力を養うために、簡易楽器を使って自己表現や即興 演奏などを少人数のグループに分かれて実習する。また本学で週1回実施している音楽療法を見学して、直接障害児と触れ合い、 その実態を把握して取り組むきっかけとなるようにする。		
評価方法 レポートにより評価する		
テキスト	著者	出版社
参考書 標準音楽療法入門（上） 理論編 標準音楽療法入門（下） 実践編	著者 日野原重明 監修 篠田知璋他 編	出版社 春秋社
授業スケジュール・内容		
1. 音楽療法について	音楽療法に関する意識調査、音楽療法の定義	
2. 歴史	音楽の歴史との関連 アメリカ、イギリスでの音楽療法の歴史と日本の現状	
3. 音楽能力自己診断	優れた能力、劣っている能力は？	
4. 音楽療法概論Ⅰ（1）	音楽の特性と音楽療法	
5. 音楽療法概論Ⅰ（2）	心理的発達と音楽的発達	
6. 音楽療法概論Ⅰ（3）	障害と音楽	
7. 演習（1）	簡易楽器による自己表現、即興演奏（グループ別）	
8. 演習（2）	簡易楽器による自己表現、即興演奏（グループ別）	
9. 臨床事例（1）	ビデオによる実践例の紹介	
10. 臨床事例（2）	本学における実践例	
11. 事例研究（1）	実践分析	
12. 事例研究（2）	実践分析	
13. 音楽療法概論Ⅱ（1）	音楽療法の実践に向けて（診断、音楽技法）	
14. 音楽療法概論Ⅱ（2）	音楽療法の実践に向けて（行動観察、評価）	
15. まとめ	レポート提出	